

  
**GAMES**  
— IN —  
**ITALY**



# TOKYO GAME SHOW 2024

**Makuhari Messe, 26-29 September**  
**Italy Pavilion - Hall 8 Booth n. 08-N01**

幕張メッセ 9月26日～29日  
イタリア パビリオン **ホール8 ブース#08-N01**

## Company Profiles

日本語版

[madeinitaly.gov.it](http://madeinitaly.gov.it)



  
Ministry of Foreign Affairs  
and International Cooperation

**ITCA**   
ITALIAN TRADE AGENCY

**IDEA**   
Italian Interactive Digital Entertainment Association



TOKYO GAME SHOW 2024

# INDEX

---

34BIGTHINGS SRL

BAD SEED SRL

FUNNY TALES S.R.L.

Gear Games Italy Srl

Idora Interactive Studios Srl

INVADER STUDIOS SRL

MYAPPFREE SPA

NACON STUDIO MILAN SRL

OTERALUDICA Srl

Revera srl

STUDIO EVIL S.R.L.

TINY BULL STUDIOS S.R.L.

Travel Verse srls

UNTOLD GAMES SRL

IIDEA (Italian Interactive Digital Entertainment Association)

---

# 34 34BIGTHINGS

2013年に設立され、成長を続ける80名を超える優秀な人材からなるチームを擁する34BigThingsは、PC、コンソール、モバイル機器にまたがるプレミアムゲームの開発業者です。当社は、最先端のテクノロジーを使用して、ジャンルを再定義し、批評家から高い評価を受け、世界中のゲーマーの想像力をかき立てる、革新的でジャンルをリードするゲームを作り出しています。



当社は、取り組むすべてのプロジェクトで卓越性を追求する勤勉なAA/AAAゲームの熟達者の集団であり、自分たちの仕事を愛する結束の強いファミリーです。当社は10を超えるプレミアムゲームを発売しており、すべてのゲームプラットフォームでヒットチャートのトップに躍り出ています。2020年11月以降、34BigThingsはEmbracer Groupの一員となっています。

Redout 2は、古典的なアーケードレーシングゲームへの賛辞であり、絶賛されたRedoutの続編です。そこでは半ば見捨てられた地球のディストピアに満ちた荒野を駆け抜けるレースが、銀河系で最も人気のあるスポーツの1つとなっています。広範なシングルプレイヤーキャンペーンと競争力のあるマルチプレイヤーにまたがる爽快な未来のレースで、あり得ないスピードに到達しましょう。

奥深い制御システム、堅牢なホバーシップのカスタマイズ、そして素晴らしいサウンドトラックにより、Redout 2は最高の反重力レーサーとなっています。



# badseed



Bad Seedは、イタリアのゲームスタジオです。当社は2014年からミラノで革新的なゲームを制作しています。当社は、世界中のゲーマーに高品質で広範囲にわたる楽しい体験をお届けすることを信条としています。

業界のベテランからなる当社のコアチームには、当社の特徴である品質とイノベーションをプラットフォーム全体にもたらし、ゲームの世界をさらに明るく勇敢なものにするという夢がありました。当社は長年にわたり、カジュアルなゲーマー、コアなゲーマー、物語やナラティブを重視する人など、さまざまなゲーマーにアピールする異なるブランドを開発してきました。

2023年に広大なマップを舞台にした完全な白黒の犯罪捜査ゲームであるCrime O'Clockを成功裏に発売したの続き、現在はエキサイティングな未発表の新プロジェクトに取り組んでいます。



Crime O'Clockは、奥深いストーリーを備えた隠されたオブジェクト検索と時間探索のゲームです。異なる時代にリンクしたストーリーを明らかにすることで、時間と進化するマップを通じて事件を捜査します。あなたには謎を解くのに十分な観察力がありますか？ 犯罪は待ってはくれません!



TOKYO  
GAME SHOW 2024

 GAMES IN ITALY

# FUNNY TALES

GAMING

FUNNY TALESは、イタリアのスタジオであるDigital TalesとJust Funny Gamesの2つが合併して誕生し、市場で17年間存在感を発揮し、20ものタイトルを制作しています。当社は、イタリアと米国にある3か所のオフィス（ミラノ、ボローニャ県イモラ、マイアミ）に25人の従業員を擁しています。FUNNY TALESは、PC、コンソール、モバイル、VR、XRのプラットフォームで受賞歴のあるゲームを開発しています。当社は、世界中の顧客企業（Bulgari、Technogym、Meta、Osmoなど）向けに本格的なゲーム（広告、教育、健康など）と高品質のeラーニングアプリ（VR、AR、XRでも）を開発しています。当社の最新作は、世界で最も期待されている「シムケード」のバイクレースの仮想現実ゲームであるVRider SBKであり、Meta Quest 3、2、Proでご利用いただけます！ 詳細は<https://funnytales.us/>をご覧ください



VRider SBKは、ライセンスを初めて取得した世界スーパーバイク選手権のVRレーシングゲームです！

胸が高鳴るVRIDERの世界に足を踏み入れましょう。これはスーパーバイク世界選手権（WSBK）の公式ゲームです。時速200マイル（時速320 km）を超える速度までスロットルを上げ、世界中のライダーと競い合い、この多感覚マルチプレイヤーVRのスリルに没頭してください！

VRIDERは、META Questを用いて可能性の限界を押し広げ、リアルで最高に楽しいレーシングゲームをVRにもたらしめました。詳細は<https://vridergame.com/>をご覧ください



Gear Gamesは、15年以上にわたりモバイルゲームを開発してきました。

当社は、ゲームを自社開発し、経験豊富な製品部門が管理し、データに基づいた意思決定と発売のための慎重なプロセスを備えています。

また、さまざまな提携先と協力して、以下の異なるモデルを適用しています。

- α版の開発からグローバルローンチまで、KPIを用いて各段階を検証しながら、さまざまな段階を経て新しいゲームを開発します
- 制作中またはすでにライブ中のゲームの機能開発とライブ運営を引き継ぎます。
- イベント、販売やゲーム収益とKPIのモニタリングを推進するゲームのライブ運営に専念することもできます。

### Arcane Rush

**Battlegrounds:** 神秘的な英雄と壮大な戦いを特徴とする魅惑的な冒険にあなたを没頭させる魅力的なカードゲームです。

- 激しいカードバトルに参加し、伝説的な英雄のリストから選択しましょう。
- 神話上の生き物や強力な呪文から魅惑的なアーティファクトまで、膨大な数のカードを収集します。

Soft Launch: 2023



CREATE YOUR WINNING STRATEGY

**Match & Score:** 二重戦略、ライブ決闘、マッチ3ボード上の戦術的な動きを備えたサッカーゲーム。

- 素晴らしいチームを作り、サッカーのスーパースターをスカウトし、史上最高のサッカー試合で勝利を収めましょう。
- 世界中のプレイヤーとのリアルタイムでのハイペースな1対1の試合に参加しましょう。

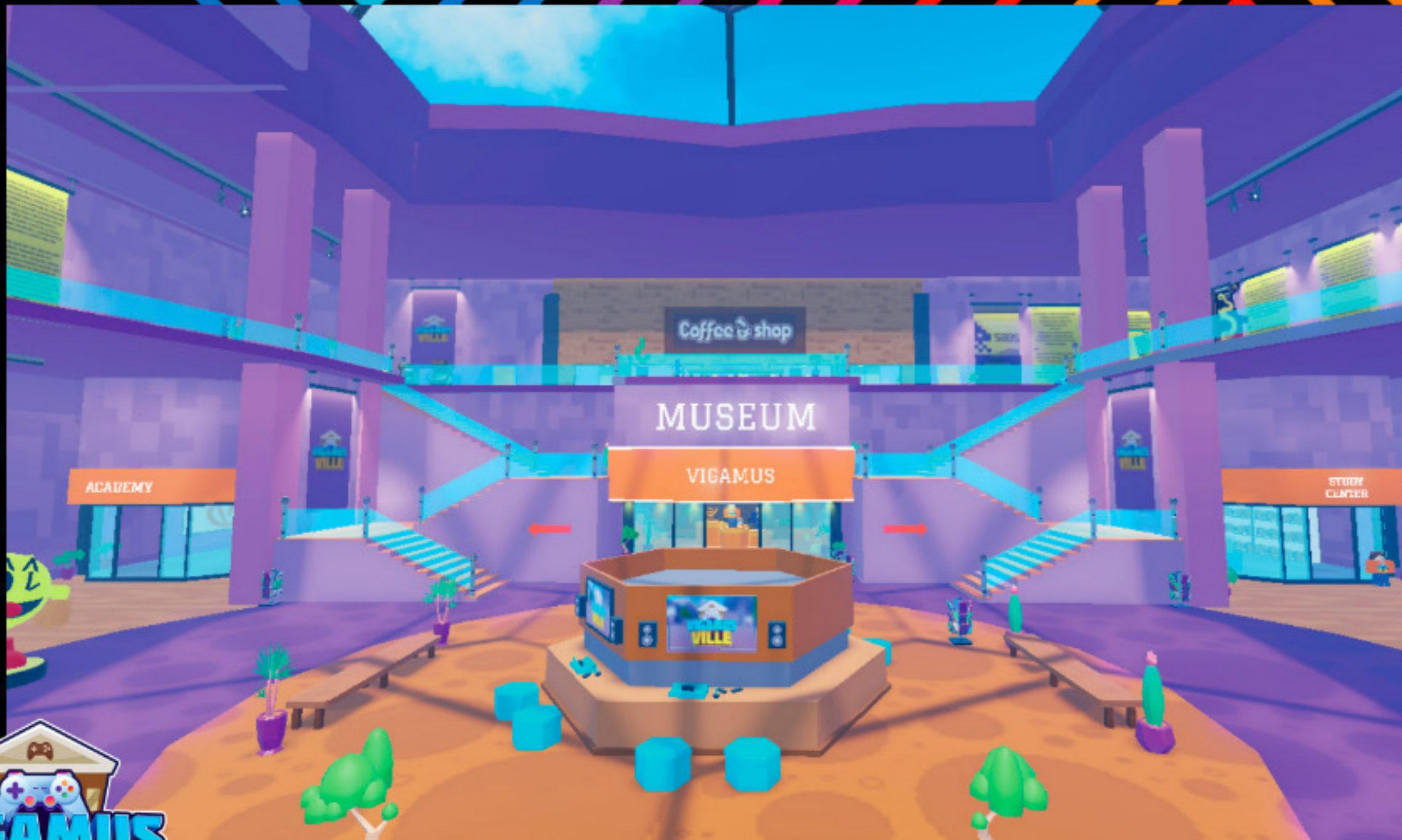
Soft Launch: 2023



Idra Interactive Studiosというブランドを持つIdra Editingは、20年以上の歴史を持つ企業で、その目標は、エンターテインメント分野と商業分野の両方において、国内外の市場で公開される独自性のあるビデオゲームを設計・開発することです。常に大きな文化的意義を持たせることを重視しています。また、ビデオゲーム産業のあらゆる分野での講座も開発しています。



Vigamus Villeは、仮想現実での博物館探索とインタラクティブなエンターテインメント体験を組み合わせたもので、ユーザーはRobloxで再現された仮想環境をローマのビデオゲーム博物館であるVigamusで探索できます。博物館のコレクションでは、インタラクティブな作品の歴史をその起源から現在までたどりますが、Vigamus Ville内のポータルは、ゲームの歴史に焦点を当てたマルチプレイヤーゲームや、さまざまなジャンルや最も人気のあるRoblox体験を探索するものへと繋がります。



2016年に設立されたInvader Studios™は、ローマ近郊に本拠地を置くイタリアの独立系ソフトウェアハウスです。このスタジオは、ゲーム開発についての共通のアイデアを共有し、サバイバルホラーのジャンルと90年代のビデオゲーム開発黄金時代への情熱により団結した専門家のグループにより設立されました。Invader Studiosの最初のリリースは、『Daymare: 1998™』というタイトルの、世界的に高く評価された三人称視点のストーリー主導のサバイバルホラーゲームで、PlayStation 4、Xbox One、SteamおよびGOG.com（2020）でご利用いただけます。Daymare sagaの新作は、Daymare 1994 Sandcastle™と呼ばれる最初のゲームの前編ですが、2023年8月にPlayStation 5、Xbox X/Sシリーズ、PlayStation 4、Xbox OneおよびPC Steam、GOGとEpic Storeでリリースされました。

**DAYMARE:1998**

(<https://daymarethegame.com/daymare-1998/>, 2019-2020)

**DAYMARE:1994  
SANDCASTLE**

(<https://daymarethegame.com/daymare-1994-sandcastle/>, 2023)

Daymare は、Daymare: 1998 と Daymare: 1994 Sandcastleにより構成された三人称サバイバルホラーのサーガ（冒険物語）です







# ユーザー体験を豊かにする 広告ソリューション



モバイルアプリやオンラインゲームのマネタイズと  
事業成長を支援するオールインワンソリューション  
を提供しています。

良質なユーザーの獲得

収益の最大化

継続率の向上

柔軟な導入オプション



nacon  
STUDIO  
MILAN

Nacon Studio Milanは、忘れられない体験を生み出すことに専念しているイタリアのビデオゲーム開発会社です。業界のベテランにより2016年に設立されたこのスタジオは、スーパーインディーチームから70名を超えるチームメンバーを擁するイタリアの中心的なプレーヤーへと急成長しました。

2021年以降、欧州の大手ビデオゲームパブリッシャーの1つであるNACONは、同社の株式を100%保有しています。Nacon Studio Milanは、完全所有のRaceWard Studio部門の下でのレーシングとサバイバルという2つの生産領域で活躍しています。同社の次回作は、オープンワールドゲームのTerminator: Survivorsです。



RiMS Racingは、現実的なレースの挑戦をエンジニアリングおよびメカニクスと組み合わせた初のバイクシミュレーションです。

マン島TTレース: Ride on the Edge 3はツーリストトロフィーの公式ゲームで、200 kmの公道と困難な物理状態を備えています。

TT  
ISLE OF MAN  
RIDE ON THE EDGE 3



TERMINATOR  
SURVIVORS

Terminator: Survivorsは、最後の審判の後を舞台にしたオープンワールドゲームで、生存者のグループとしてプレイして資源を集め、人類のための作戦基地を構築します。しかし、あなたは一人きりではありません。Skynetのマシンや敵対する人間の一派があなたを追い詰めます。

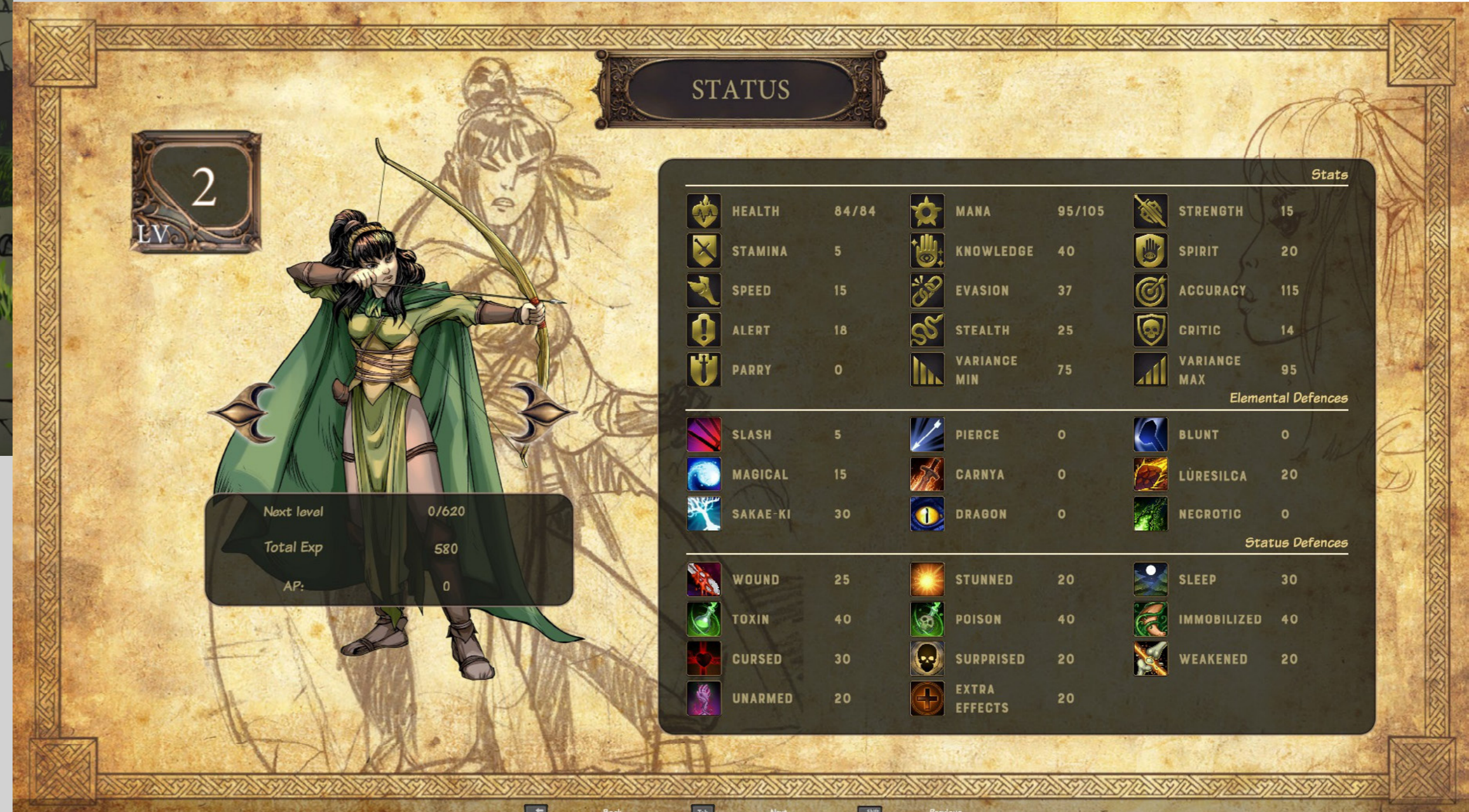
# operaludica

Operaludicaは、ビデオゲームの世界で30年もの経験を持つIV Productionsと、ITテクノロジーを専門とするHEARTWOOD LABSとのコラボレーションにより、2020年にボローニャで誕生しました。

Operaludicaは、物語風のビデオゲーム、特にSergio Bonelli Editoreの登場人物に基づいた制作を行っており、その最初の作品がDRAGONEROです。Operaludicaは、アーティスト、ゲームデザイナー、プログラマー、ミュージシャンなど20名のチームで構成されています。



Erondarの英雄たちをこの壮大な冒険に導きましょう。イアン、グモール、ミルヴァ、アルベン、セラ。どの登場人物にも独自の能力とプレイスタイルがあります。各キャラクターの物語を体験してから、メインの冒険に全員を集めましょう。このクラシックなターンベースのRPGには戦略的なひねりが加えられており、あなたに挑戦をもたらします。ダンジョンを探索し、オープンワールドでの旅を計画し、ターンベースの戦闘で数十の敵と対峙します。目前には、広大で神秘的な世界、未知の土地、自動生成されたダンジョンと手動で作成されたダンジョンがあります。戦闘と探索は英雄を疲れさせます。休憩を管理し、アイテムを使って英雄を活気づけます。次にスキルを賢明に選択し、自分の動きを調整して恐ろしい敵を倒します。しかし、それだけではありません。マスターモードでは、この広大な漫画本スタイルのファンタジーの世界で、コミュニティと共有する冒険を作成し、新しいダンジョンを構築し、特別な生き物に命を吹き込み、想像力を解き放つことができます。





# Revera

EMPOWERING REAL LIFE

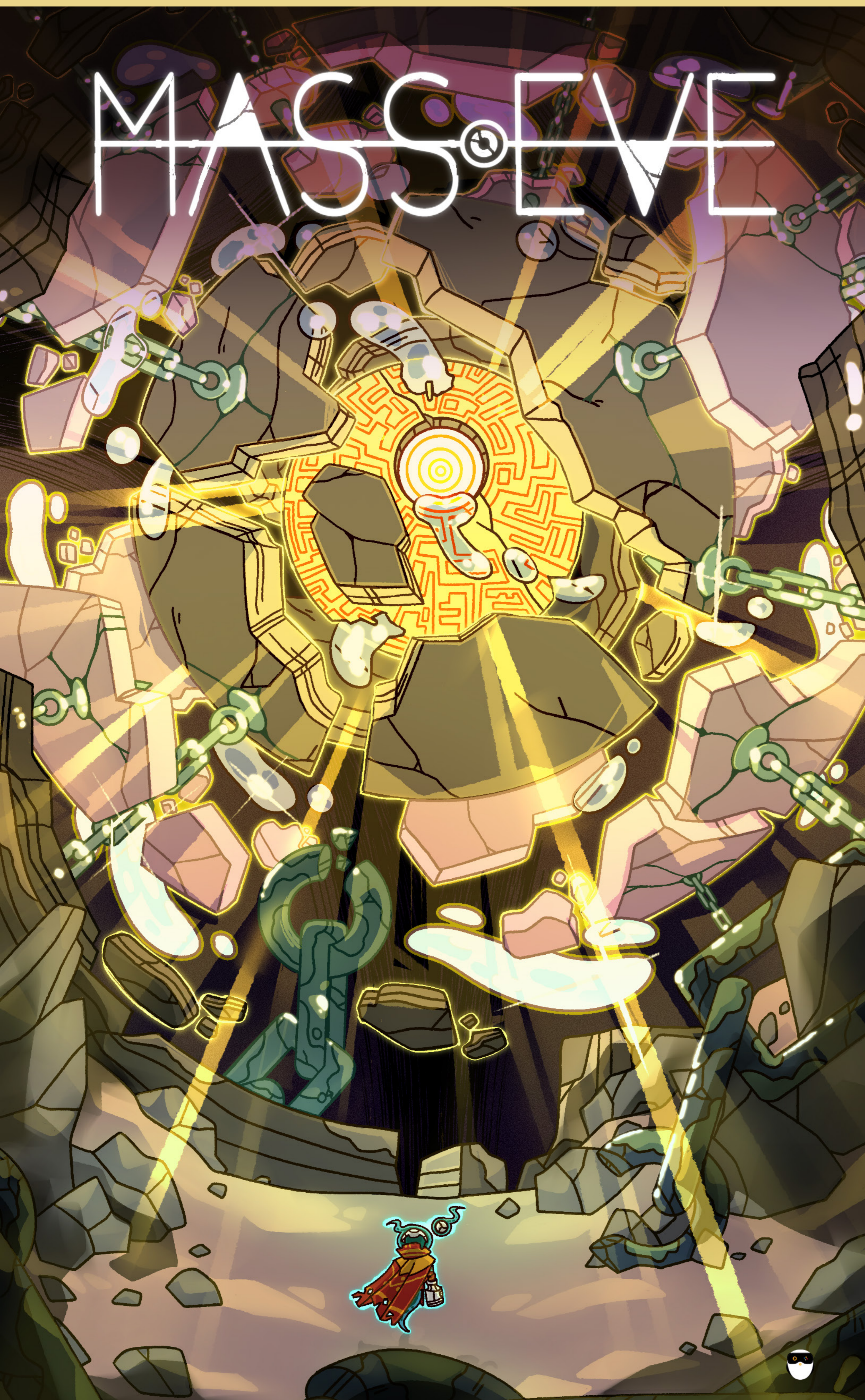
Reveraの創設者は、確かな学歴と豊富な調査経験を誇ります。仮想現実と拡張現実を専門とする同社は、重要な国内および海外でのコラボレーションを迅速に確立してきました。以下は2つの例です。

- Reveraはサウジアラビアで著名なプロジェクトに取り組み、ナバテア人のジャバル・イクマ遺跡を再現する没入型で物語風の仮想現実体験を構築しました。

V-Expo: WebGLマルチプレイヤーアプリケーション（動的なリアルタイムのAWSインフラストラクチャインタラクションに基づく）で、これにより、ユーザーは自律的に独自の仮想博覧会を作成し、オンライン仮想イベントを運営できます。

その堅実さにもかかわらず、ビデオゲームへの情熱が当社の仕事の原動力となっています。最初のプロジェクトは、量子物理学の魅力的な領域からヒントを得たローグライクゲームです。同社は、グラフィック品質とフォトリアリズムへの揺るぎない取り組みを特徴としており、その特徴はゲーム開発への進出にも及んでいます。

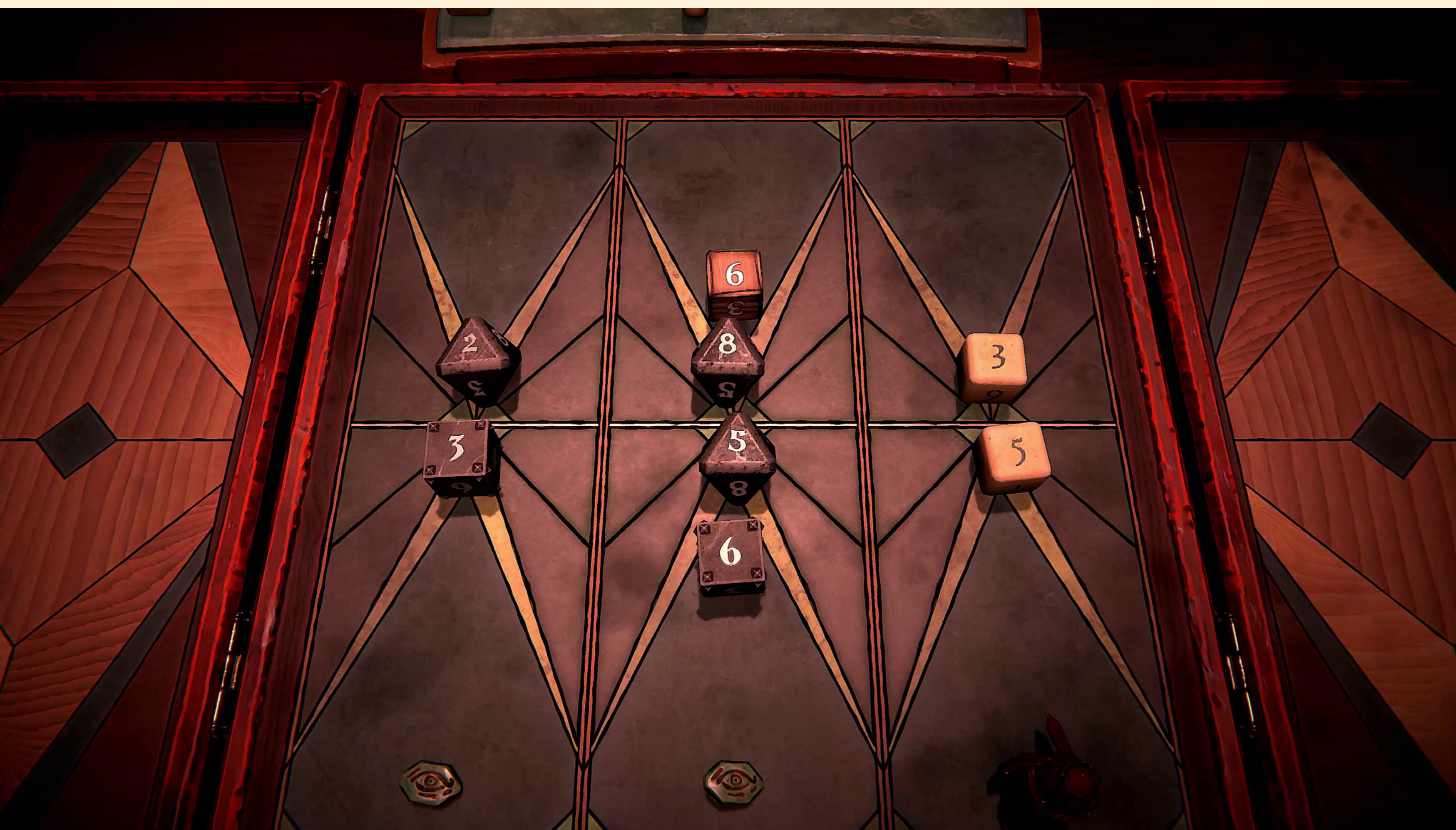
『Mass-Eve』は、量子世界を舞台にした物語風ローグライクゲームです。プレイヤーはニュートリノを体現し、絡み合いを通じて意識を共有し、バイオームをナビゲートしてダークマターを封じ込めるようヒッグス粒子を補助します。標準モデルのバランスとダークマターの大変動の間でのこの葛藤は、量子物理学の概念をゲームプレイの仕組みに融合させながら、プレイヤーを自己発見の旅へと導きます。ニュートリノが駒から主要なプレイヤーへと進化するにつれて、彼らは宇宙紛争の結果における自分たちの役割について熟考するようになります。





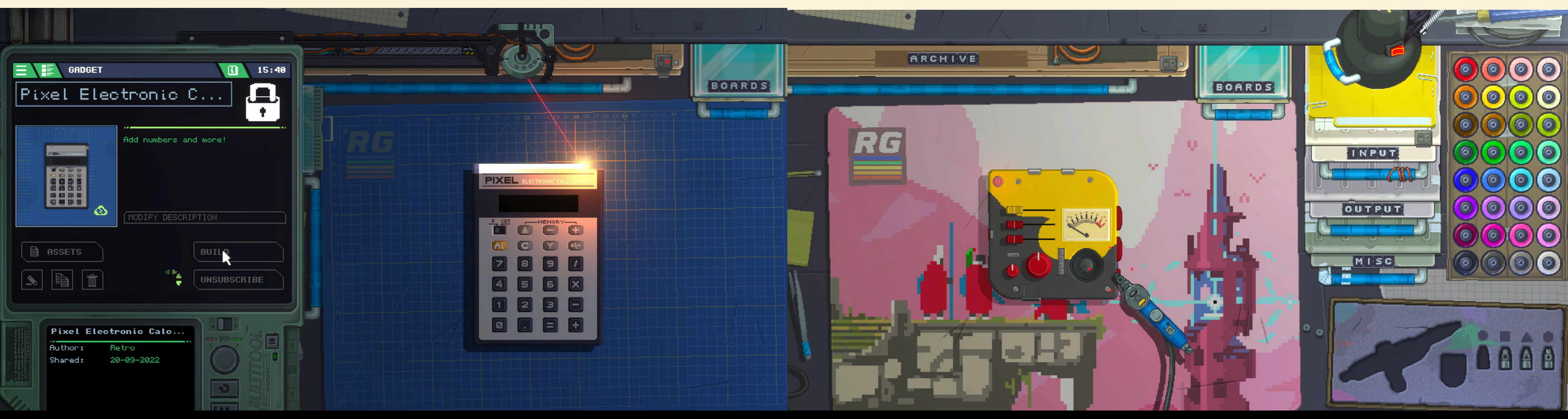
Dice of Arcanaは、邪悪なローグライトのサイコロゲームです。悪意のある人形が率いるキャラバンで血まみれの旅を生き延びましょう。指を賭け、特別なサイコロでルールを破り、大アルカナに直面して打ち勝ちましょう。負けは死を意味します。

Studio Evilは、IT業界のベテラン3人により2011年に設立されました。チームは現在17人のメンバーで構成されており、ボローニャに本拠地を置いています。当社の使命は、革新的な仕組み、新しいテクノロジー、そして当社が好む昔ながらのゲームからヒントを得たレトロな雰囲気を組み合わせた美しいゲームを作り上げることです。当社は、次のような4つの自己資金によるオリジナルのゲームをPCとコンソールでリリースしました。Syder Arcade、Super Cane Magic ZERO、Syder ReloadedおよびRetro Gadgets (Licoriceと共同開発しており、現在早期アクセス版でご利用いただけます)。当社は最近、最新作であるローグライトダイスホラー、Dice of Arcanaを発表しました。



当社の主な目的はオリジナルゲームの開発ですが、昨年は、Motul、Ducati、Heineken、FAACなどのサードパーティ向けのインタラクティブエクスペリエンスの開発にも特化しました。

Retro Gadgetsは、昔ながらの電子機器からのヒントを得たガジェットを構築し、コーディングし、カスタマイズし、共有するサンドボックスです。





# TINY BULL

S T U D I O S

Tiny Bull Studiosは、2013年に設立され、トリノに拠点を置くイタリアの大手ゲーム開発会社の1つです。物語主導のゲームを専門とするこのスタジオは、その専門知識をさまざまなジャンルに拡張させ、ゲーム開発に対する多用途かつ情熱的なアプローチを見せています。そのポートフォリオには、仮想現実サイコスリラーの『Blind』や、テキストベースのゲームブックアドベンチャーで、続編も開発中である『Omen Exitio: Plague』などのタイトルが含まれています。2022年には、Tiny Bull StudiosはDon't Nod Entertainmentと連携しながら、これまでで最大のプロジェクトに着手しました。社内プロジェクトと職務著作物のバランスをとりながら、同社はスキルを磨き、国際市場での権威を確立してきました。

## Omen Exitio: Hunger (2025)

Omen Exitio: Hungerは、1920年代のニューヨークを舞台とした、ラヴクラフト作家のオープンワールド捜査のビジュアルノベルです。プレイヤーは捜査ジャーナリストの役割を担い、暗黒ミステリーを掘り下げ、街を形作った恐ろしい歴史的な出来事の背後にある真実を明らかにします。



## The Hero is Back (2026)

The Hero is Backは、死のサイクルのメカニズムに革新的なひねりを加えて、父性主義のヒーローの原型というテーマに取り組むアイソメトリックなローグライトです。

これは、社会変革のためのゲームに重点を置く別のイタリアのゲーム開発者であるWhitesockとの共同制作によるものです。



# TRAVEL verse

Travel Verseは、フェデリコ・リマ (Federico Lima) とイヴァン・アレヴィ (Ivan Allevi) によって2023年にブスト・アルシーツィオで設立された革新的な新興企業です。当社はメタバースと人工知能を活用しながら、没入型でインタラクティブな旅行体験を提供することで観光業界を変革しています。当社の「Generative AI Engine (生成AIエンジン)」により、観光地やおもてなしの仕組みを仮想現実で再現し、旅の魅力と提供価値を高めています。エンジニア、アーキテクト、機械学習の専門家で構成されている当社の学際的なチームが、旅行者の体験を豊かにする革新的なソリューションを開発すべく相乗的に取り組んでいます。

Travel Verse は、Fortniteなどのゲームプラットフォームと連携して、イタリアの文化遺産を促進する仮想環境を作り上げています。ユーザーは、エンターテインメントを文化学習と組み合わせながら、ミラノのスフォルツェスコ城やヴェローナのアリーナなどの歴史的復元物を探索することができます。ソニーやFortniteとの提携により、新しいゲームを自社開発し、Epic GamesやPlayStation 5などの専用ポータルで配信し、ユニークで魅力的なゲーム体験を提供しています。





UNTOLD GAMES

過去10年間にわたり、Untold Gamesは、ゲームシーンの背後で重要な役割を果たし、忘れられないビデオゲームを移植し、Unreal Engineを使用した一流の開発サービスを提供してきました。その幸運な道のりは、ゲーム業界で最もクリエイティブなスタジオのいくつかとのコラボレーションにより特徴づけられてきました。

アドレナリン全開のアドベンチャー『Journey to the Savage Planet』や心温まる革新的な『It Takes Two』のNintendo Switchへの移植から、次世代コンソール用のハイオクレーシング『Assetto Corsa Competizione』へのアップグレードまで、同社はすべてを成し遂げました。

Untold Gamesは現在、City20という個人的な作品に取り組んでいます。画期的なディストピアの人生シミュレーターです。



City 20は、手続き型のストーリーテラーにより管理されるナレーションを特徴とする、生活環境をベースにしたサンドボックス・サバイバルゲームです。

放射性物質の漏洩後に隔離され、密閉され壊れにくい壁の後ろで飢えたまま放置された秘密の核都市を舞台とするCity 20は、完全な自由の感覚とゲーム世界の順応性を備えたKenshiと、手続き型の物語を備えたRimworldを組み合わせたものです。

このゲームは、2024年にPCで早期アクセス版にてリリースされる予定です。



TOKYO  
GAME SHOW 2024























 GAMES IN ITALY





Italian Interactive Digital Entertainment Association

イタリア・インタラクティブ・デジタル・エンターテインメント協会（IIDEA）は、イタリアのビデオゲーム産業の業界団体です。現在、コンソールメーカー、ビデオゲームのパブリッシャーおよび開発者、eスポーツ運営者を含む約100社が加盟しています。IIDEAは国際的な業界団体ネットワークの一部であり、欧州ではVideo Games Europeおよび欧州ゲーム開発者連盟（European Game Developers Federation）の会員です。

<p><b>34BIGTHINGS SRL</b>  <a href="http://34bigthings.com">http://34bigthings.com</a></p> <p> <a href="https://www.instagram.com/34bigthings?igsh=eXVyY2kzNTRzc2Ro">https://www.instagram.com/34bigthings?igsh=eXVyY2kzNTRzc2Ro</a></p> <p> <a href="https://www.facebook.com/34bigthings">https://www.facebook.com/34bigthings</a></p> <p> <a href="https://x.com/34bigthings">https://x.com/34bigthings</a></p> <p> <a href="https://www.youtube.com/channel/UCaFznj30IVlqQH6x98Ei0AQ">https://www.youtube.com/channel/UCaFznj30IVlqQH6x98Ei0AQ</a></p>	<p><b>BAD SEED SRL</b>  <a href="https://www.badseed.it">https://www.badseed.it</a></p> <p> <a href="https://www.instagram.com/badseedsrl">https://www.instagram.com/badseedsrl</a></p> <p> <a href="https://www.facebook.com/BadSeedEntertainment">https://www.facebook.com/BadSeedEntertainment</a></p> <p> <a href="https://x.com/BadSeed_Ent">https://x.com/BadSeed_Ent</a></p>	<p><b>FUNNY TALES S.R.L.</b>  <a href="https://funnytales.us/">https://funnytales.us/</a></p>
<p><b>GEAR GAMES ITALY SRL</b>  <a href="https://www.geargames.com">https://www.geargames.com</a></p>	<p><b>IDRA INTERACTIVE SRL</b>  <a href="http://www.idrainteractivestudios.com/">http://www.idrainteractivestudios.com/</a></p> <p> <a href="https://www.instagram.com/idrainteractivestudios/">https://www.instagram.com/idrainteractivestudios/</a></p> <p> <a href="https://www.facebook.com/IdraInteractiveStudios/">https://www.facebook.com/IdraInteractiveStudios/</a></p> <p> <a href="https://x.com/idra_studios">https://x.com/idra_studios</a></p>	<p><b>INVADER STUDIOS SRL</b>  <a href="http://www.invaderstudiosofficial.com">http://www.invaderstudiosofficial.com</a></p>
<p><b>MYAPPFREE SPA</b>  <a href="https://maf.ad/">https://maf.ad/</a></p> <p> <a href="https://www.linkedin.com/company/myappfree-s-r-l/">https://www.linkedin.com/company/myappfree-s-r-l/</a></p>	<p><b>NACON STUDIO MILAN SRL</b>  <a href="http://www.naconstudiomilan.com">http://www.naconstudiomilan.com</a></p> <p> <a href="http://instagram.com/naconstudiomilan">http://instagram.com/naconstudiomilan</a></p> <p> <a href="http://facebook.com/naconstudiomilan">http://facebook.com/naconstudiomilan</a></p> <p> <a href="http://x.com/naconmilan">http://x.com/naconmilan</a></p>	<p><b>OPERALUDICA SRL</b>  <a href="https://operaludica.com/">https://operaludica.com/</a></p> <p> <a href="https://x.com/OperaludicaDev">https://x.com/OperaludicaDev</a></p>
<p><b>REVERA SRL</b>  <a href="http://www.reveravr.com/">http://www.reveravr.com/</a></p>	<p><b>STUDIO EVIL S.R.L.</b>  <a href="http://www.studioevil.com">http://www.studioevil.com</a></p> <p> <a href="https://www.instagram.com/studioevil/">https://www.instagram.com/studioevil/</a></p> <p> <a href="https://x.com/STUDIOEVIL">https://x.com/STUDIOEVIL</a></p>	<p><b>TINY BULL STUDIOS S.R.L.</b>  <a href="http://www.tinybullstudios.com">http://www.tinybullstudios.com</a></p> <p> <a href="https://www.instagram.com/tinybullstudios">https://www.instagram.com/tinybullstudios</a></p> <p> <a href="https://www.facebook.com/TinyBullStudios">https://www.facebook.com/TinyBullStudios</a></p> <p> <a href="https://x.com/TinyBullStudios">https://x.com/TinyBullStudios</a></p>
<p><b>TRAVEL VERSE SRLS</b>  <a href="http://www.travelverse.it">http://www.travelverse.it</a></p>	<p><b>UNTOLD GAMES SRL</b>  <a href="https://www.untoldgames.com">https://www.untoldgames.com</a></p> <p> <a href="https://www.facebook.com/UntoldGames/">https://www.facebook.com/UntoldGames/</a></p> <p> <a href="https://twitter.com/UntoldGames">https://twitter.com/UntoldGames</a></p>	<p><b>IIDEA</b>          (Italian Interactive Digital Entertainment Association)  <a href="https://iideassociation.com/">https://iideassociation.com/</a></p>

**イタリア大使館 貿易促進部**

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館16階  
 Tel : 03-3475-1401 Fax : 03-3475-1440 Email : tokyo@ice.it



[www.ice-tokyo.or.jp/](http://www.ice-tokyo.or.jp/)



[@ita\\_tokyo](https://twitter.com/ita_tokyo)



[twitter.com/ITATokyo\\_](https://twitter.com/ITATokyo_)